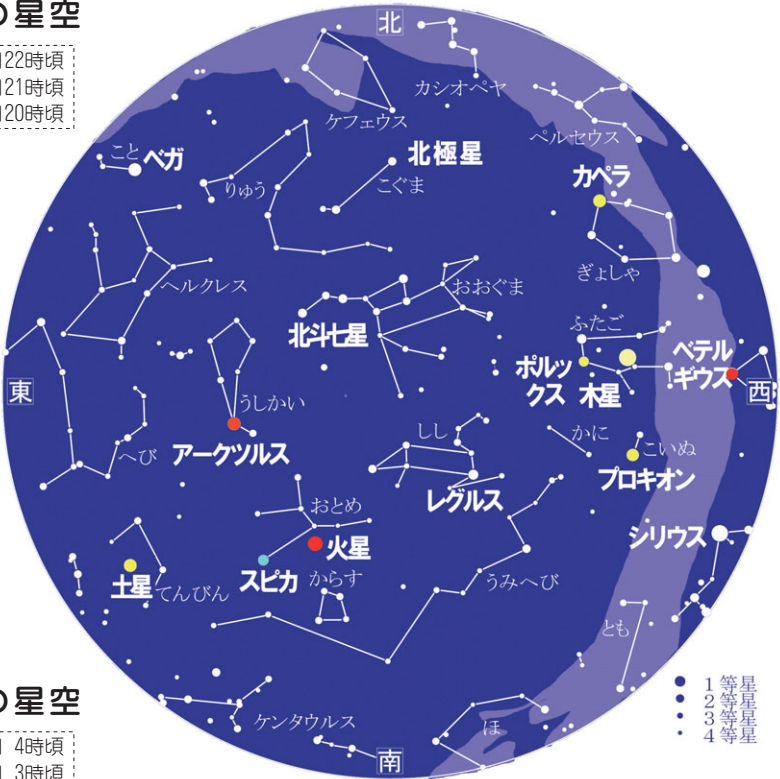




★星空ガイド 4月16日～5月15日

よいの星空

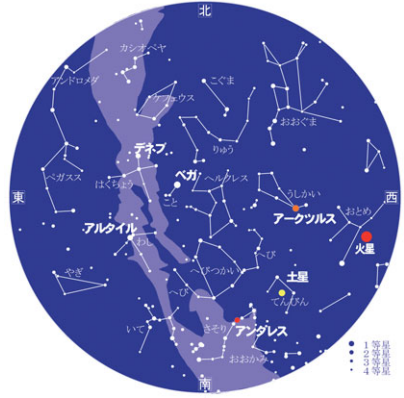
4月16日 22時頃
5月 1日 21時頃
15日 20時頃



● 1等星
● 2等星
● 3等星
● 4等星

あけの星空

4月16日 4時頃
5月 1日 3時頃
15日 2時頃



● 1等星
● 2等星
● 3等星
● 4等星

[太陽と月の出入り(大阪)]

月	日	日の出	日の入	月の出	月の入	月齢
4	16	5:25	18:30	19:33	5:48	16.3
	21	5:19	18:34	—	10:07	21.3
	26	5:13	18:38	3:08	15:32	26.3
5	1	5:08	18:42	6:29	20:38	1.9
	6	5:03	18:46	10:43	—	6.9
	11	4:58	18:50	15:18	2:32	11.9
	15	4:55	18:53	19:24	5:08	15.9

※惑星は2014年5月1日の位置です。

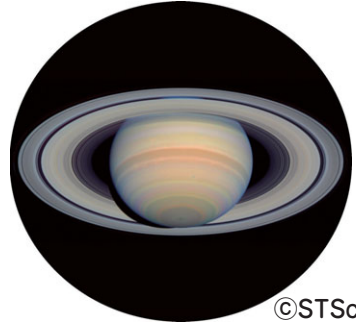
みずがめ座エータ流星群極大—5月6~7日夜明け前の空に注目

メダルはとれないけど、入賞クラスの流星群が、みずがめ座エータ(η)流星群です。夜明け前に流れはじめるので、観察するのは大変ですが、連休の最後の日にちょっと早起きしてみるのはいかがでしょうか。しんどいかな？ 条件も今年は「良好」です。

土星がみごろ 4月18日と5月14日は月のそばにあって見つけやすい

火星もひきつづきみごとですが、土星もみごろです。ぜひ見つけましょう。土星は明るい星で、大阪でもよく見えます。

でも、どの星が土星かは、みわけがつきにくいです。他にも同じくらい明るい星があるためです。そこで月がそばに来る日をねらうのがオススメです。この期間では4月18日と5月14日になります。



©STSci

土星の環にチャレンジしてみよう

土星といえば環ですが、見るためには倍率30倍以上の望遠鏡が必要です。科学館で販売している組み立てキットの望遠鏡でもなんとかわかります。別途しっかりした三脚などの台は必須です。

また、画素数の多い高級なデジカメで撮影し、強引に拡大すると、少し延びた形が確認できることがあります。いいカメラを持っている方は試してみてください。

もちろん、科学館や友の会の観望会もいいチャンスですよ。

[こよみと天文現象]

月	日	曜	主な天文現象など
4	17	木	土用の入
	18	金	月と土星がならぶ
	19	土	小惑星ベスタが最接近(5.7等)
	20	日	明け方に月とアンタレスがならぶ
	22	火	穀雨/イースター
	23	水	●下弦(17時)
	26	土	4月ごと座流星群極大(21時)
	29	火	月が最近(369765km)

月	日	曜	主な天文現象など
5	2	金	八十八夜
	3	土	憲法記念日
	4	日	みどりの日/月と木星がならぶ
	5	月	立夏/こどもの日
	6	火	振替休日/月が最遠(404318km)
	7	水	●上弦(12時)/みずがめ座エータ流星群極大のころ
	8	木	月とレグルスがならぶ
	11	日	土星が衝/月と火星がならぶ
	12	月	月とスピカが接近
	14	水	月と土星が接近
	15	木	○満月(4時)/金星と天王星が接近

渡部 義弥(科学館学芸員)